

2021 年度 山形県山岳連盟 第 2 回常任理事会議事録

日時：令和 4 年 3 月 19 日（土）

場所：大江町中央公民館

10:09～12:24

高橋副会長のあいさつで開会

大滝会長の挨拶

菅野事務局長から本理事会成立状況について、理事 19 名中、13 名の出席者、4 名の委任状提出があり、規約第 12 条 6 の定数 2/3 以上により本理事会成立の報告があった。

規約第 12 条 5 により大滝会長が議長席に就き、議事開始。

議事録署名委員選出

菅野事務局長より 長井山岳会 佐藤 和典 理事の推薦があり承認された。

報告：

報第 1 号 令和 3 年度（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者永年表彰について
受賞者 伊藤 吉樹 氏（山形県山岳連盟副会長）の報告があった。

報第 2 号 令和 3 年度（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会功労者表彰について
受賞者 伊藤 吉樹 氏（山形県山岳連盟副会長）の報告があった。

報第 3 号 令和 3 年度 東北ブロック会議の内容と対応について

菅野事務局長による報告

今年度、山形県で開催された東北ブロック大会（兼）東北総体の成績に東北ブロック大会と東北総体の成績判定が異なるため誤りがあると指摘があった。持ち帰り検証を行ったところ、国体出場選手に関しては支障がないものの、総合順位の入れ替わりが確認されたため東北各県へ謝罪を行い、今後の競技大会での実施要項を整理していくことの確認報告があった。

報第 4 号 日本山岳・スポーツクライミング協会との会議内容について

菅野事務局長による報告

日本山岳・スポーツクライミング協会筆頭副会長が来県し現状とスポーツクライミング競技への取組み等について意見交換を行った。第 1 回常任理事会での結果を受けて退会について意見を伺ったところ、退会の必要はなく競技を休む程度に考えて欲しいと助言を受けた旨の報告があった。

報第 5 号 競技に関する働きかけによるスポーツクライミング団体との対応経過について

菅野事務局長による報告

令和 4 年 3 月 4 日に山形スポーツクライミング連絡会との意見交換が行われ、国体出場を目指す子供たちの為に連絡会から県に国体県予選会の開催について確認している状況の報告があった。

議事：

議第 1 号 2021 年度 事業報告と収支決算（案）及び監査報告について

菅野事務局長による説明

事業報告ではコロナ禍の中東北ブロック山形大会の開催や県委託事業のやまがた百名山登山口調査を実施したこと、コロナ感染まん延防止による事業の中止や会議の Web 開催が多かったこと、財政面では海外登山からの寄付によりいくらか繰越できたことなどの説明があり、佐藤監査員からの監査報告後審議に入る

04.02.19 飯豊町クライミング初心者体験会（2 回目）開催中止による修正

04.03.19 飯豊町クライミング初心者体験会（3 回目）の追加

以上を修正・追加し承認された。

議第 2 号 規約・規定の改正（案）について

菅野事務局長による説明

1) 規約第 13 条 8 の評議員の委任について、出席者を代理人とする文言に修正

2) 競技に関する文言の削除

3) スポーツクライミングに固執せずクライミングとした文言に修正

4) 「競技部」を「クライミング部」への変更

5) 各規程の見直しと文言の整理

以上を修正し承認された。

なお、表彰規程については実情に合わないとの意見があり、検討を行うこととした。

議第 3 号 加盟団体及び個人会員の退会について

菅野事務局長による説明

NPO 法人アクションパーク米沢クライミングクラブ、個人会員 1 名の退会
規約第 5 条 8 により常任理事会で承認された。

議第 4 号 令和 4 年度 第 23 回県民登山の開催（案）について

菅野事務局長による説明

※第 1 回常任理事会で山域、主管団体については承認済み

山域：朝日連峰「古寺口～大朝日岳」

期日：7 月 2 日（土）～3 日（日）

主管団体は大江山岳会。

原案のとおり承認された。

議第 5 号 令和 4 年度 事業計画（案）と収支予算（案）

井上理事長・菅野事務局長による説明

具体的な事業については、2021 年度はスポーツクライミング競技をどうしていくのか、コロナ禍の中で事業も制約された年だったが、ようやく方向性が見えてきたので、2022 年度は登山部の活動を充実させていきたいと考えている。遭難対策関係では鳥海山でのキャプテンシステムとか月山でのヘリココシステムや飯豊連峰でのドローン捜索などに取り組んでいきたい。自然保護活動では朝日山地生態系保護地域での管理委員会と巡視員制度の関連性の確立、今問題となっている鳥海山でのスノーモービルの運行や登山道の保全活動など各種の問題に取り組んでいきたいとの説明があり、予算案については競技活動をしないことで総額が半減し厳しい状況もあるが、活性化に繋がる活動や個人への負担がないように対応していきたいとの説明があった。

事業計画では 04.1.18 の第 1 回常任理事会の日程を 19 に修正、予算書の支出の部で前年度決算額及び次年度繰越金予算額の記載方法について指摘があり修正し、事業計画・予算案について承認された。

議第6号 山形県山岳連盟の方向性について

菅野事務局長による説明

現在山形県スポーツ協会へ加入しているが、第1回常任理事会では「スポーツクライミング競技を休止」として、「他の団体（組織）への働きかけを行う」ことの方向性が承認されており、令和4年度は働きかけの猶予期間との考えからスポーツ協会への継続加入としたいが、令和4年度をもって退会することについて原案のとおり承認された。

その他：

時間の関係から総会での説明として了承いただく。

大滝会長議長席より退席

伊藤副会長のあいさつで閉会

本議事録は2022年3月19日に開催された第2回常任理事会の議事内容及び承認事項に相違ありません。

2022年3月19日

議事録署名人

大滝潤

議事録署名人

佐藤和典

